

必要経費の目安

- ご旅行代金旅行代金の他に別途下記の料金がかかります。
 ※詳細は、渡航手続き書類にてご案内申し上げます。
- ◆空港施設使用料 / 国際観光税 / 海外空港税・燃油特別付加運賃 (25,000円) 上記は 2026 年 4 月 現在の金額です。航空券の発券時点でレートは変動いたします。その場合は差額を徴収もしくは返金いたします。
 - ◆渡航手続諸費用 (パスポートを新規取得、更新の方): パスポート新規申請代 (5 年用 9,000 円 / 10 年用 14,000 円 / 各自治体の戸籍謄本・住民票発行手数料や写真代別途要)
 - ◆お一人部屋追加料金: 27,000 円 (ホテルは基本 2 名一室です)
 ※お一人参加で相部屋をご希望の場合、最終的な部屋割りによってはやむを得ずお一人部屋追加料金を頂戴することがございます。予めご了承くださいませ。
 - ◆任意の海外旅行保険
 - ◆超過手荷物料金: 規定の重量、大きさ、個数を超える分についての手荷物運搬料金
 - ◆個人的費用: 旅程表に明記されていないものの費用 (食事代、飲み物代・自由行動時の諸費用等)
 - ◆ご自宅～発着空港までの交通費



ご旅行条件

旅行条件の詳細は「旅行業約款」(募集型企画旅行契約)によります。この旅行は2026年4月1日現在を基準としています。

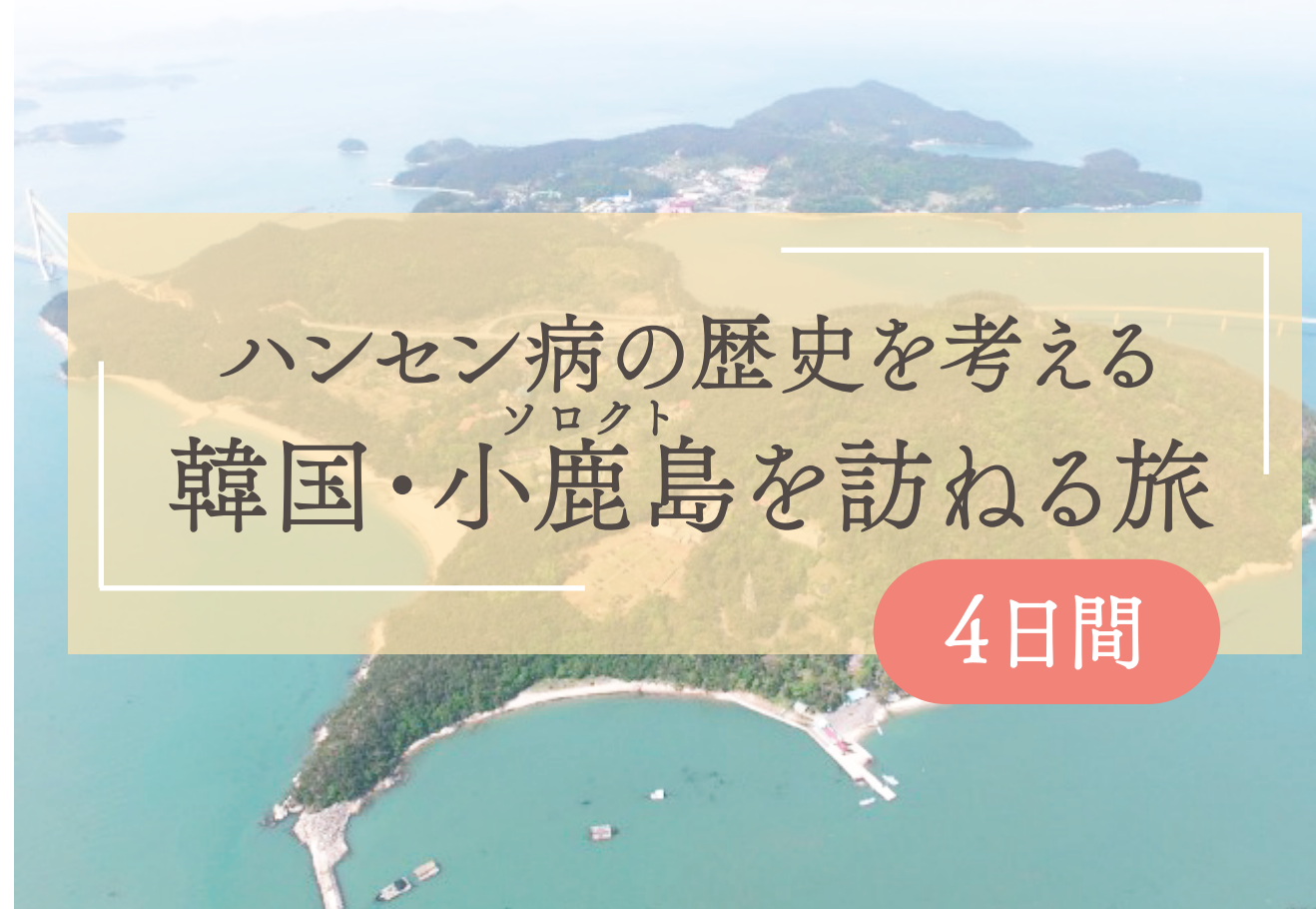
■**旅行契約の解除**
 参加者が最少催行人数に達しなかった場合は、旅行を中止することがあります。この場合は出発の23日前迄にお知らせします。

<取消料>
 お客様都合で旅行を取消す場合は、下記の取消料をお支払いいただきます。

契約の解除期日	取消料
旅行開始日前日から起算して遡って30日前以降	旅行費用の20%
旅行開始日前々日以降	旅行費用の50%
旅行開始後の解除、無連絡不参加	旅行費用の100%

ご旅行要項

- 旅行代金に含まれるもの (一部例示)**
- ・航空運賃: 団体包括旅行運賃
 - ・ホテル料金: 2人部屋基準、税、サービス料含む
 - ・食事代: (旅程表に表記のもの) ・バス代 ・日本語ガイド代
 - ・旅程表に明示した市内(郊外)見学地の入場料、チップ
 - ・添乗員同行費用
- 旅行代金に含まれないもの**
- ・旅程表以外に行動される場合の交通費、宿泊費、飲食費等
 - ・渡航手続費用: 旅券印紙代(5年用11,000円/10年用16,000円)
 - ・渡航手続手数料: (旅券申請書作成代行)
 - ・超過手荷物料金: 規定の重量、大きさ、個数を超える分
 - ・個人的諸費用: 電話、fax、クリーニング代、追加飲食費用、自由行動時の諸費用等
 - ・お一人部屋追加料金(相部屋の方がいない場合も同様)
 - ・空港施設使用料および保安料
 - ・日本国内の交通費、前泊の費用
 - ・傷害、疾病等に関する医療費 ・任意の海外旅行保険料
 - ・訪問国入国税、航空保険料、特別燃油付加運賃



ハンセン病の歴史を考える ソロクト 韓国・小鹿島を訪ねる旅

4日間

旅行企画・実施 観光庁長官登録旅行業第84号 JATA正会員

株式会社 富士国際旅行社

TEL: 045-212-2101 FAX: 045-212-2201
 fuji@fits-tyo.com 担当: 山田/西須/川村/小島

●この旅行に関するお問合せ・お申込みは下記まで
 〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町1-1-7
 ヒューリックみなとみらい11F-4
 総合旅行業務取扱管理者: 西須 輝理

営業時間: 月～金曜日 / AM10:00～PM6:00
 (休業日: 土日・祝日)
 ホームページ: <http://www.fits-tyo.com/>


お申込方法

- ①【紙で仮予約の場合】下記の予約票にご記入いただき、富士国際旅行社宛に郵送またはFAXでお送りください。予約票が届き次第、旅行社より取引条件説明書面とお申込書を他の必要書類とともにお送りいたします。
- ②【ウェブで仮予約の場合】下記QRコードにアクセスし、仮予約フォームを送信下さい。
- ③ 仮予約お受付後、弊社より海外旅行手続き書面をお送りいたします。ご案内書面に記載の銀行に、**申込金50,000円** (旅行代金内金) をご送金ください (申込書と申込金の両方の到着をもって正式申込となります)。
- ④ ツアー実施確定後、弊社よりご連絡いたします。

株式会社 富士国際旅行社 宛

参加予約票 ハンセン病の歴史を考える 小鹿島を訪ねる旅

出発日を選択→【 7月15日(水)発 ・ 9月23日(水)発 】

パスポート ローマ字表記	性別	生年月日	年 月 日 () 歳	ウェブ仮予約はこちらから↓
氏名	男・女	パスポート	有効旅券(パスポート)【有・無】 パスポート番号: 有効期限: 年 月 日	
住所	(〒 -)			
連絡先	【tel】 () - 【fax】 () - 【携帯】 - - 【e-mail】			

旅行期間

- ① 2026年 7月15日(水)～7月18日(土)
- ② 2026年 9月23日(水)～9月26日(土)

旅行代金

195,000円 ※費用の他に航空便費用に付随する海外空港税・航空保険料等・空港施設使用料・保安料25,000円がかかります。発券時のレートにより変動いたします。

定員

20名様 (最低実施人員15名)

添乗員

申込締切

① 6月5日(金) ② 8月14日(金) **成田空港から同行します**

※締切日以降も航空便やホテルに空席があればご参加いただけます。ただし、空席状況により追加料金が発生する場合がございます。お問合せください。



POINT!

- 01 韓国全羅南道小鹿島を訪れ、日本の植民地支配とハンセン病の歴史を考えます
- 02 麗水愛養園への訪問、麗順事件の関連地をめぐるフィールドワークも
- 03 釜山では国立日帝強制動員歴史館見学のほか、国際市場や甘川文化村の観光もお楽しみいただけます

Peace Green Humanity

旅行企画・実施

(株)富士国際旅行社

〒231-0062
 神奈川県横浜市中区桜木町1-1-7
 ヒューリックみなとみらい11F-4

ハンセン病の歴史を考える 韓国・小鹿島を訪ねる旅 4日間

日次	都市	交通機関	摘要	食事
①	成田空港発 釜山・金海空港着 釜山市内着	航空便 専用車	成田空港集合（午前10時45分ごろ集合予定） 空路 ✈️ 釜山・金海空港へ * 国際市場 * 甘川文化村など ホテル着、チェックイン	朝× 昼○ 夕○
②	ホテル発 小鹿島着 小鹿島発 順天市内着	専用車	専用車で小鹿島へ <小鹿島内見学> * 国立小鹿島病院ハンセン病博物館 * 中央公園 * 愁嘆場 など ★夕食	朝○ 昼○ 夕○
③	ホテル発 順天市内着	専用車	専用車で麗水へ 午前：麗水愛養園見学 午後：海上ケーブルカー観光、順天湾湿地見学 麗順事件の関連地をめぐる ★夕食	朝○ 昼○ 夕○
④	ホテル発 釜山着 釜山・金海空港着 釜山・金海空港発 成田空港着	専用車 航空便	専用車で釜山へ、釜山市内見学 * 国立日帝強制動員歴史館など 空港へ移動、搭乗手続き 空路 ✈️ 帰国の途へ 到着後、解散（18時15分ごろ到着予定）	朝○ 昼○ 夕×

- 現地の都合により、訪問順序・日時が入れ替わる場合がございます ● 利用航空会社：大韓航空
- 宿泊予定ホテル：釜山＝コモドホテル、クラウンハーバーホテル、順天＝エコグラッドホテル または同等クラス（弊社基準）
- 旅程表のマーク：朝＝朝食、昼＝昼食、夕＝夕食



朝鮮半島のハンセン病史

—差別と苦難で綴られたハンセン病100年の歴史

韓国南部の全羅南道沖の小島、小鹿島（ソロクト）。日本の植民地時代の1916年、当時の朝鮮総督府により「小鹿島慈恵病院」が開設されました。朝鮮半島におけるハンセン病患者の強制隔離の歴史は、ここから始まります。



▲1930年代の小鹿島慈恵病院
（「写真で見る小鹿島100年 ハンセン病、そして人、百年の省察」から）

◆西日本新聞 "差別、貧困の連鎖... 韓国のハンセン病問題「現在進行形」" より(2021年6月28日)

『朝鮮半島では1935年、朝鮮らい予防令が制定され、同院は40年には約6千人超の患者を収容した。島内では患者の収容区域と職員が仕事や生活をする区域が厳格に区別され、断種や堕胎、強制労働、暴力といった人権侵害が行われた。

45年に植民地支配から解放された後も、小鹿島更生園と改称した施設の職員らが80人超の患者を殺害する事件が発生。各地で強制隔離施設から逃走した患者が地域住民らに虐殺される事件などが相次いだ。韓国の国家人権委員会は2005年、韓国社会におけるハンセン病患者への根深い偏見と差別の慣行は「日帝時代に形成され、患者の強力な隔離政策と否定的な認識が大きく作用した」と指摘した。

1954年に制定された伝染病予防法は63年に改定され、感染の恐れがある患者以外を強制隔離収容する規定は廃止された。政府は元患者や家族が集落を形成して畜産や農業で生計を立てる定着村事業を推進した。

同事業は元患者らの経済的な自立を促した半面、地域社会に差別対象の特別な集落との印象を植え付けた。後に事業を検証した保健福祉省は2011年の報告書で「(元患者に) 監獄である小鹿島から離れられる自由を与えたが、半分の隔離、半分の自由を提供した」と結論付けている。

日韓両国で、旧植民地時代の元患者や家族の救済に向けた立法や司法の機運が高まったのは00年代に入ってから。補償関連の特別法の制定や、日韓両政府を相手取った訴訟で原告勝訴の判決が相次いだ。

01年、元患者による国家賠償請求訴訟の熊本地裁判決で原告が全面勝訴したのをきっかけに、韓国と台湾の元患者らが提訴。06年のハンセン病補償法改正につながり、韓国と台湾の元患者本人が補償の対象となった。韓国でも08年、元患者が受けた被害事件の真相究明と生活支援などに関する法律が施行された。

19年には熊本地裁が家族への差別被害を認める判決を言い渡し、旧植民地の元患者家族も対象とする家族補償法が成立。今年4月、韓国の元患者家族62人が厚生労働省に補償申請を行い、代理人弁護士らは潜在的な補償対象者の掘り起こしを続けている。』

国立日帝強制動員歴史館

朝鮮半島出身者は日本の植民地支配の後半に、『国家総動員法』(1938年)によってさまざまな目的で強制的に望まぬ活動に従事させられました。労働力、軍事行動の補助員(軍属)、慰安婦などがよく知られています。歴史館は多くのこうした人権侵害の歴史を広く知らせ、正しい認識を培うために2015年に開館しました。

麗水愛養園

愛養園はアメリカの医療宣教師が1909年光州でハンセン病患者を治療したのが始まりで、韓国最初のハンセン病治療の民間病院として設立されました。1930年ごろに現在の麗水市に病院・宿舎・教会を移転。当時600余名の患者がいたといわれています。日本植民地時代、総督府の干渉が強まると外国人医師、宣教師たちは帰国せざるを得なくなり1942年には完全に総督府が接収しました。1972年からは養老院として使われ、現在は歴史博物館として愛養園の歴史や当時使われていた医療器具や医療スタッフ、患者たちの生活などが展示されています。

韓国基本情報

- 【国名】大韓民国 【首都】ソウル 【通貨】ウォン
- 【時差】なし：日本と同時刻
- 【気候】韓国は日本と同様春夏秋冬がはっきりしています。釜山は南部で海沿いなので日本との差はそれほどありません。日本に比べ雨が少なく、乾燥しています。
- 【食事】キムチ、チョッカル(塩辛)、テンジャン(味噌)など様々な発酵保存食品が高い栄養価のある食品としてよく知られています。韓国の食膳は全ての料理が一度に出されることが大きな特徴です。



麗順事件

1948年に麗水と順天で起きた虐殺で、韓国ではそれぞれの地域の頭文字をとって「麗順事件」と言われています。事件は韓国政府樹立後の同10月、麗水や順天に駐留していた部隊の一部が済州島で起きた「4・3事件」の鎮圧に派遣されるのを拒否し反乱したことに始まります。韓国の初代大統領の李承晩(イスンマン)政権は反乱勢力を徹底的に弾圧。多くの市民が「反乱軍に協力した」などの理由で虐殺されました。



麗水市のイスンジン大橋